

～水田で見かける雑草紹介～

① クログワイ

特徴：塊茎で繁殖するため防除が困難。開花期には先端が黄色くなる。

発生期間：5～9月



水田に繁殖したクログワイの様子

② オモダカ

特徴：塊茎で繁殖するため防除が困難。成長すると矢じり型の葉が展開する。
白い花を咲かせる。

発生期間：4～10月



矢じり型の葉が展開したオモダカの様子

③ イヌホタルイ

特徴：種子で繁殖する。斑点米カメムシ類の住み家ともなるため注意が必要。

茎の先に小さな穂を付け、そこから大量の種子が生産される。

一葉齢以上成長してしまうと除草剤が効かない。

発生期間：5～9月



除草剤が効かないサイズまで成長したホタルイ



ホタルイの黒くて小さな種子が大量に田面に浮いている様子

④ 雑草イネ

特徴：種子で繁殖する。見た目が栽培イネとよく似ているため判別が困難。

栽培イネより若干早く穂が出て、穂に付いた籾の先端は赤く色づいている。

約2週間後には自然に籾を落とし始める。

落ちた種子の籾殻を外すと、中から真っ赤な玄米が出てくるため、「赤米」とも呼ばれる。

発生期間：4～10月（*栽培イネと同時期に発生）



籾の先端が赤く色づいている様子



雑草イネの赤い玄米とコシヒカリの玄米

⑤ アシカキ

特徴：種子および越冬茎で繁殖する。耕起や代かきで傷つけられた場合でも茎断片で増殖する。

発生期間：5～10月



土手から水田内に侵入しているアシカキの様子